今、旦飯野神社では、師走の12月１日から「年納詣で」というキャンペーンを行っています。１月１日の正月元旦と立春の２月の二回新年があるという考え方から旦飯野神社では正月期間を12月１日～２月の節分までとしています。

正月三が日お参りするのに２時間もかかるというので、混雑を敬遠したい方は人出が空いている正月前か正月後にご参拝ください。

　旦飯野神社では既存の祭祀祭礼の他に御田植祭や抜穂祭、一日詣り、十五日詣りなどを行っている他、不定期に一粒万倍詣りなど積極的に仕掛けている事業があります。年間で延べ15万人の参拝者があります。付加価値のある神社を目指してきました。

　祈祷は他の人と一緒にしない、ご家族だけの貸し切りご祈祷。一日詣りはお清めの塩や限定のお守りの無料授与。十五日詣りはお菓子の無料配布など。一粒万倍日の限定おみくじでは当たりが金色の大きな米粒を進呈します。

　そして何よりも神社側からの参拝者への声掛けです。親しみやすい神主を目指しています。

　神社にはいくつかの言い伝えがあります。

・昔からどんな日照りでも枯れたことがない「神池」・お椀が下がった小社・神門に掘られた十二支が一つ動物が欠けている

など、それを見つけに参拝者がリピーターとなります。

 その他にこちらから意識して話題づくりを仕掛けてもいます。

・シイタケやミニトマト、バジルのお持ち帰り

・神門に並んでいる狛犬の頭を撫でられる

・境内のどこかにハート型の石がある

・大判焼きやの「あん鯛」など

こうした取り組みは、大きな神社、有名な神社との区別化・差別化になり、特徴のある神社として認知度があがってきたと思います。

ＦＭ新潟のアナウンサーによる正月用のアナウンスをお聞きください。

なるべく、参拝者がスムーズに進めるように誘導するものです。私の録音もあります。親しみやすい感じでお話をしています。

　旦飯野神社に先ずは来てもらって、折角来てくれた人なら、失望させないように神社の環境を整えるようにしています。また、関わっている家族や年代の異なる職員の意見も聞いています。